

トヨコ通信

2004年 11月号

ホームページ <http://www.sasada-toyoko.jp/>
e-mail sanbal@sasada-toyoko.jp

発行 : 日本共産党笹田トヨコ後援会
発行日 : 2004年 10月27日 第26号
連絡先 : 大垣市鳩部屋町41
日本共産党大垣市後援会
Tel 74-3449 Fax 73-8572

今月のふぉと ~厚生委員会視察~

10月18日から20日まで厚生委員会(7名)の視察があり、東北へ行ってきました。

18日：福島市「自転車利用環境総合整備について」

福島市は平坦な町で自転車が市民の日常的な移動手段になっています。放置自転車対策とあわせて、レンタサイクルシステムやミニ駐輪場の設置、サイクル&(バス)ライド駐輪場(乗り換え拠点の整備)など自転車利用を積極的に生かした街づくりを行っています。



駅前レンガ通りのミニ駐輪場

写真③自転車や家具などのリサイクル
ごみとして出されたものを再利用。大人用自転車2000円、子ども用1000円、三輪車など500円という安さです。



写真③

写真④工芸室

ビンによるガラス細工、牛乳パックによる紙すき、廃油による石鹸づくりを行っています。



写真④

そのほかに---

写真⑤遊水地

一関市は洪水常襲地域で、平成14年にも大きな水害があり、現在300戸の家を移転させ遊水地事業を行っているとのこと。



写真⑤

写真⑦中等寺

隣の平泉町にはあの有名な中等寺があります。視察後立ち寄り、金色堂を拝観してきました。



写真⑦

19日：一関市「一関地方衛生組合リサイクルプラザ」

写真①エントランスホール
正面にガラス細工の絵がかかっています。



写真①

写真②手選別室

収集した資源ごみから手作業で不適物を除去したり、ビン類を色別に分類します。



写真②



写真⑤

写真⑥環境学習フロア

環境問題をできるだけ体験を通して学べるフロアです。

「混ぜればゴミ・分ければ資源」を合言葉に、リサイクルについて住民が体験

して学べるようにいろいろ工夫がされていました。開設当初は可燃ごみが40%も混入し分別に苦労したことや、注射針など産業廃棄物が混入するなどゴミ収集に課題を残しているとのこと。住民への啓蒙活動とともにゴミ収集が民間業者に委託していることが問題と感じました。

20日：秋田市「福祉複合施設ウェルビューいずみ」を視察する予定でしたが、台風が近づいていたため、急遽中止して峽路につきました。飛行機をキャンセルして新幹線で戻りましたが、大垣に着いた時には、すでに市内のあちこちは冠水状態でした。



21日朝 島町内の様子

庭の花 ～バラ～



残念ながら種類はよくわかりません。背丈よりもずいぶん高いところにボツと1輪咲きました。薄いピンク色です。

ピンクのバラの花言葉は：温かい心・満足

台風23号 またもや荒崎地区浸水被害

厚生委員会の視察を切り上げ大垣市に到着したのが20日の午後4時。雨の降り方はますます激しくなっており、あちこちが冠水状態でした。水門川も満杯で今にも溢れる状態。午後5時30分、大谷川洗堰から越流が始まり、荒崎地区住民に避難勧告がでました。そして5時間20分後の午後10時50分に、仮土囊積みの堤防から越流し、またもや荒崎地区は21棟の床上浸水、121棟の床下浸水の被害がでました。

床上浸水	47棟	荒崎21棟(島町20、長松1)、その他26棟(寺内町、南切石町、今町、禾森町、林町、八島町、割田、本今町、荒尾玉池、荒川町)
床下浸水	689棟	荒崎121棟、その他568棟(八島町、割田2丁目、本今町、静里町、林町8丁目、藤江7丁目ほか)

荒崎地区には遊水地が必要

今回の大雨で、私たちが住む大垣地域の水防対策の重要性を改めて思い知らされました。今、国・県は膨大な税金を徳山ダムに使っているいるため、河川の堤防改修に手が回らず、改修が大変後れています。早期の相川堤防の改修を求めています。

10月18日に厚生委員会の視察で訪れた福島県一関市は洪水常態地域で、2年前の平成14年にも大きな水害がありました。同行の議員も荒崎地区に遊水地の必要性を感じ取られたようです。遊水地公園実現に向けて頑張ります。

被災者の皆様に心からお見舞い申し上げます

一憲法が輝く日本を一

23日、「憲法が輝く日本を」と題して、名古屋大学の森英樹教授の講演会がありました。・・・有事法制が若々と完備され、憲法9条は生き埋め状態になっている。それでも憲法9条のおかげで、自衛隊はイラクで武力行使ができず、隊員の命が助かっている。そのことを一番身にしているのは隊員自身。自衛隊官舎トイレに「憲法に守ってもらう自衛隊」の落書きあり・・・というお話でした。

この翌日、朝日新聞にこんな記事がでました。

「サマワ若弾のロケット弾、追撃砲の2倍の威力」

「イラク・サマワの陸上自衛隊の宿営地内に現地時間の22日夜、撃ち込まれたロケット弾は、隊員が寝泊まりするコンテナが並ぶ一角のすぐ近くに着弾した。」
「砲弾による攻撃は防ぐ手立てがない。今後のイラク派遣に備えている陸自隊員には不安や戸惑いが広がっている。」

なぜかテレビではほとんど報道されていません。



お役立ち情報コーナー ～乳がん検診 マンモグラフィを活用しましょう～



以前ご紹介したマンモグラフィ(乳房のレントゲン)を使った乳がん検診について、多数問い合わせがありましたので改めて申し込み時期などをお知らせします。

市民検診にマンモグラフィが入っている自治体はまだ少数です。この機会にぜひご活用ください。

電話での申し込みはつながりにくい場合があるので、直接保健センターに行くのが確実との情報もあります。

実施月	実施日	広報掲載(号)	申込開始月日
12月	1(水)・2(木) 9(木)16(木)	11月15日	11月19日(金)
1月	6(木)・13(木)・19(水) 20(水)・24(木)	12月15日	12月21日(火)
2月	3(木)・10(木)・17(木) 23(水)・24(木)	1月15日	1月20日(木)
3月	3(木)・10(木) 17(木)・24(木)	2月15日	2月22日(火)

対象者 30歳移譲の女性
受付時間 ①午後1時～1時15分
②1時30分～45分
受診料 視触診のみ 300円視触診とマンモグラフィ(乳房レントゲン撮影) 1000円
健診人数 25人/日
申し込み先 保健センター 75-2322
検診会場 市民病院1病棟地下